



鹿児島県
曾於市

市報

そお

100号

を迎えました

主な内容

市報そお100号特集	2	環霧島探訪	28
青少年事業の報告	6	健康コラム	29
行政information	10	戸籍の窓	30
話題の広場	18	くらしの情報	31
図書館だより	20		
お知らせ	22		

10

2013/10/1
vol.100

市報そおは 創刊 100 号を 迎えました!!

「市報そお」は平成 17 年 7 月 15 日発行の創刊号以来、今月号の発行をもって、創刊から数えて 100 号を迎えることができました。

平成 17 年 7 月 1 日の合併から、今年で 8 年目を迎えた曾於市。これまでの市報そおの表紙をめくりながら、ここでは曾於市の歴史を振り返っていききたいと思います。



創刊号 (2005 年 7 月 15 日発行)

曾於市誕生

記念すべき市報そお第 1 号の表紙は、曾於市役所の開庁式の写真です。



30 号 (2007 年 12 月 1 日発行)

解体され更地になった財部駅舎
建て替えのため、解体され更地になった財部駅舎の写真です。解体前の写真も掲載しました。



20 号 (2007 年 2 月 1 日発行)

曾於市消防出初式
出初式の恒例となっている美しい七色一斉放水の写真です。



10 号 (2006 年 3 月 31 日発行)

向江公園の桜
この年の 7 月に市の木に制定される「さくら」。春の訪れを告げる美しいさくらの写真です。

**曾於市の
主な出来事**

(過去の「市報そお」より抜粋)

平成 17 年

7 月 1 日

曾於市誕生

9 月 30 日

曾於市章の決定

平成 18 年

4 月 1 日

曾於市商工会発足

5 月 1 日

曾於市青年団発足

7 月 2 日

市花・市木・市歌制定

10 月 27 日

中岳ダム完工

平成 19 年

7 月 1 日

「曾於市民憲章」と「宣言」を制定

7 月 31 日

「ぞお鹿児島農協財部支所石蔵倉庫」が国登録有形文化財に登録

11 月 9 日

環霧島会議発足



60号(2010年6月1日発行)

曾於市観光特産開発センター開所式
この年の5月1日に曾於市観光特産開発センターが開所しました。真新しい看板の写真です。



50号(2009年8月1日発行)

曾於市小学校水泳記録会
この年の7月23日に開催された第4回曾於市小学校水泳記録会の写真です



40号(2008年10月1日発行)

曾於市カヌー大会
この年の8月24日に開催されたカヌー大会。ドラゴンボートレースの写真です。



90号(2012年12月1日発行)

昔の道具で脱穀体験
月野小学校が、昔の足踏み脱穀機での脱穀に挑戦した時の写真です。



80号(2012年2月1日発行)

華やかな成人式
この年の1月3日、平成24年曾於市成人式が開催されました。新成人の笑顔の写真です。



70号(2011年4月1日発行)

中央幼稚園卒園式
末吉の中央幼稚園の卒園式の写真です。多くの園児たちが卒園しました。

平成20年 3月23日 やまびこ館(財部駅)完成
4月24日 曾於市観光協会設立
10月14日 霧島ジオパーク推進協議会発足
平成21年 10月6日 都城広域定住自立圏形成協定締結
平成22年 3月14日 曾於弥五郎IC〜末吉財部IC間が開通
4月末 宮崎県で口蹄疫が発生
平成23年 1月19日 新燃岳噴火
平成24年 1月13日 北別府学氏野球殿堂入り
3月末 財部北中学校、財部南中学校、南之郷中学校が閉校
4月2日 曾於消防署が開署

一〇〇号記念

市報そお歴代担当者座談会

先日、市報そお歴代担当者が集まり、座談会を行いました。
これまでの市報を振り返り、様々な思い出や市報に対する思いを語りました。

一〇〇号までの

道のり

松下貴史（以下、M） 「市報そお」は11月号で百号を迎えました。梅木さんは創刊号から46号まで、梅井さんは47号から82号までを担当されましたが、それぞれの思いをお聞かせください。

梅木康（以下、U） 百号ですが、本当に早かったなというのが、正直な気持ちです。合併して、8年も経ったんだなど。

M 市報の歴史が曾於市の歴史といえますからね。

梅井秀和（以下、K） 私が担当した期間（平成21年4月から平成24年3月）は、口蹄疫の発生や東日本大震災などの大きな出来事がありました。同じ号の中で、面白い話題を取り上げながら、同時にそういったシビア

な問題を取り上げなくてはいいない。特に口蹄疫の時は、急速に被害が拡大していったので、情報の収集、表現には注意しました。

印象に残っている

記事・写真

U やっぱり創刊号から3号までが、特に印象に残っていますね。合併当初は、市民の皆さんから様々な問い合わせがあり、曾於市の観光スポット、市役所の機構などを掲載しました。3号は44ページありますから。

M 市政要覧と市役所のパンフレットが一冊になったようなものですね。

U 現在のスタイルに近づいたのは、一年くらい経ってからですね。

M 印象に残っている表紙は？

U 弥五郎伝説の里で撮った花火の写真（平成18年9月号）ですね。良い出来だなど。満足している一枚です。

K 花火の撮影は一回も成功しなかった。梅木さんに色々教わって、挑戦したんだけど。

M 花火を表紙にしていましたよね？

K あれは偶然に撮れたもの。狙って撮影できた写真は一度も成功しなかった。個人的には、65号（平成22年11月号）から表紙の全面に写真を掲載するようになったことが一番の思い出ですね。

M 皆さんが表紙の写真を選ぶときのポイントは何でしたか？

K 人の顔が必ず入っていることですね。

U 私は、その月にあったイベントの中から選んでいました。その時々々の曾於市の姿を掲載するように心がけていました。

M 私も最初は時事ネタを掲載していました。でも、過去の市報と似たような表紙になってしまふ。色々と考えた結果、8月号から曾於市内の名所を表紙で紹介することにしました。まだまだ模索中です。



梅木康さん 経済課勤務
平成17年7月～平成21年3月担当

K 表紙やトピックスなどで担当者の特色を出せるから、色々なことに挑戦したくなるよね。
M そうですね。せっかくなので色々挑戦したい。できるだけ多くの人の目を引くような表紙にしたいですね。

市報担当になって

良かったこと

K 様々な場面を取材し、市内の情報の最前線にいたことができました。また、芸能人やスポーツ選手たちと話しができたことも大きな財産ですね。

U 取材に行くことで、様々な人や場所を知ることができましたね。今でも「写真は撮らないの」と声をかけられることがあります。

K 広報誌担当者でなければ、出会えなかった人、行っていな

いであろう場所はたくさんありますね。
M 私も同感です。それと、カメラに興味を持ったのも良かったですね。

市報作成での

苦労談・失敗談

U レイアウトやトピックスのタイトルには苦労しました。キャッチーなコピーが出来ずに、やたら固いタイトルになったり。失敗は戸籍の窓での誤字ですね。

M 人名を間違えると、せっかく書いた記事が台無しになってしまいますね。相手の方にも大変失礼になりますし。

K 私は取材先で車のバッテリーが上がったり、厳粛な雰囲気の中で、冷や汗をかきまし



梶井秀和さん 市民課勤務
 平成21年4月～平成24年3月担当

た。時間に余裕がなく、焦って取材をすると、必ずミスをしてしまう。

U 「鬼追い」の最中にカメラが動かなくなったこともありました。

M 私は「サマーフェスタ」と「どろんこ大会」の最中で。

K 私は「弥五郎どんの浜下り」の最中でした。写真は、その瞬間を逃すとやり直しがきかないからね。注意しないと。

曾於市において

市報の持つ役割

M 市民の皆さんは本当に良く市報を読んでくださってますよね。

U 高齢者の多い曾於市では、市報は一番の情報媒体です。

M そうですね。だからこそ、市民が本当に欲する情報を、分かりやすく伝えるように心がけなくてはいいですね。

K 様々な場面で頑張っている人たちにスポットライトを当てることが出来るよね。記事にされた人たちは、以前にも増してやる気がでるだろうし、活動に共感する人も出てくるはず。そういうことが積み重なって、

最終的には、まちの活性化に繋がればいいと思う。

U 市報には本当に様々な役割がありますね。他には、歴史的な資料としての役割もあります。詳細な年月日も記載されているし、曾於市の歴史を伝える最良の資料です。

M 郷土史を作る際には、市報が重要な役割を果たしますよね。吉井記念展の記事（平成25年4月号）を書く際にも、昔の記事がとても役に立ちました。

今後の市報に

求めること

K これからも面白い話題や感動する話題など、人の心に訴えかける記事を掲載して欲しい。デジタル化の進む現代だけど、活字にはまだまだ可能性がある。読んだ人が、曾於市に住んで良かったな、若しくは住んでみたいなと思えるような誌面作りができればいいよね。

U これは自分が担当の時に出来なかったことなんだけど、市民の皆さんに問題提起するような特集を組んで欲しい。

M そうですね。これからは、



梶井さんの思い出の表紙
 （平成22年11月号）



梅木さんの思い出の表紙
 （平成18年9月号）



松下貴史 企画課勤務
 平成24年4月～現在

お二人が築いてきたものを継承しながら、より市民目線で、誰もが読みたくなる誌面作りをしていきます。

『平成25年度チャレンジ・ザ・日本一「富士登山」研修事業』 ～目指せ夢実現！！～



富士山登頂を見事に成し遂げた11名

曾於市教育委員会では、心身ともにたくましく、夢実現にチャレンジする青少年の育成を目的に、『第7回チャレンジ・ザ・日本一「富士登山」研修事業』を行いました。7月24日から27日までの3泊4日の行程で、今年6月にユネスコ世界文化遺産に登録されたばかりの富士山の登山を中心に行いました。

今回の参加者は、小学5年生から高校2年生までの17名と、引率者4名の計21名でした。富士登山では5合目から歩き始め、気温や気圧の急な変化、険しい岩肌の登山道にも負けず、8合目（3200メートル）の山小屋に到着しました。仮眠を取った後、午前1時に頂上を目指しました。高山病に苦しむ参加者もいましたが、弱音を吐かず、この事業始まって以来の全員登頂を見事果たしてくれました。頂上では、「やったあ」と歓喜の声を上げ、「がんばったよね」と互いに称え合う者、「やっとついたあ」

と頂上に着いた喜びをしみじみと噛みしめる者と色々でした。到着して間もなく、待望の「ご来光」です。太陽が雲海の中から黄金色の光を放しながら登り、冷えきった体が少しずつ温かくなりました。最大の感動を迎え「オーツ」というどよめきが聞こえました。日本一の山を制覇した喜びと自信をしっかりとつかんだ一瞬でした。

また、武田神社や上野の西郷隆盛像・動物園・東京スカイツリー・フジテレビなどを見学して、日本一に関連する歴史や文化にも触れました。本当に充実した研修に、参加者は十分満足していました。



富士山頂からの美しいご来光



上野の西郷隆盛像



浅草寺



武田神社

曾於市青少年研修活動事業

曾於市青少年リーダー研修 in 南薩

目指せ！！たくましいリーダー



曾於市青少年指導員会と曾於市教育委員会は、共催で「曾於市青少年リーダー研修」を開催しています。

本研修は、異年齢集団活動での相互学習（宿泊体験・自然体験・文化体験等）を通して、めまぐるしく変化する社会への視野を広め、協調性や自立精神を養い、たくましく生きる力と思いやりの心をもった、青少年のリーダーを育成することを目的としています。

今年度は、市内の小学5年生から中学2年生までの計30名が研修生として参加しました。1回目の研修として、8月17日から19日にかけて南薩宿泊研修を行いました。研修には、青少年指導員・在宅看護師・市教委職員が付き添い、研修生をサポートしました。

1日目は、班ごとに電車・バス・フェリー等の公共交通機関を利用し、会場の南薩少年自然の家を目指しました。そこでは、班全員が力を合わせ、まずテントを設営し、その後、野外炊飯

等の活動を行いました。

2日目は、本研修のメインである金峰山への登山を行いました。研修生たちは、各班に帯同した森林インストラクターから、森の生物・植物等についての説明を受けながら、標高636mの頂上を目指しました。夜には、キャンプファイヤーを行い、厳かな雰囲気の中、みんなで赤々と燃え上がる炎を囲み、お互いの絆と友情を深めました。

3日目は、テント撤収・サンドクラフト等の学習を行い、南薩少年自然の家を後にしました。

帰路での研修生の行動の一つ一つには、リーダーとしての自覚も見られ、出発前の研修生よりたくましく見えました。



鹿児島中央駅に到着



サンドクラフト



キャンプファイヤー



金峰山登山

曾於市青少年海外派遣事業 in シアトル



曾於市教育委員会では平成22年度から「曾於市青少年海外派遣事業」を実施して、曾於市出身の高校生をアメリカのシアトルに派遣しています。そのねらいは、海外でのホームステイや現地の学校における学びを通して、国際的視野を広め、心身共にたくましく思いやりのある青少年の育成を図ることです。

4回目となった今回は、7月20日から8月20日まで一ヶ月にわたり7名の高校生が参加しました。

7名はそれぞれのホームステイ先からシアトル市内にあるノースウエストスクールへ公共の交通機関等を利用して通いました。スクールでは、

現地のアメリカ人をはじめ、世界各国から参加している約350人の留学生と共に英語やダンス・スポーツ・アート・音楽などを3週間学びました。とても意義ある研修となりました。

また、最後の一週間は、学校外での研修として、カナダのビクトリア市内やシアトル市内で社会見学等を行いました。

た。8月13日はノースウエスト・ハーベストというNPO団体が運営するフードバンクで市民に提供する食材の仕分けボランティアに参加しました。研修生たちは熱心にまた丁寧な作業をし、NPOスタッフの方々から絶賛されました。

一日おいて、8月15日は、シアトル市の南部にある飛行機博物館を見学しました。ライト兄弟の発明した飛行機・戦闘機・民間旅客機・アメリカの偵察機ブラックバード・スペースシャトル等の飛行機や歴史資料が展示されていました。この見学によりアメリカの航空史を興味深く学ぶことができました。

一ヶ月間の研修を終えた研修生たちは、「海外での生活や学校の授業はとても新鮮でした」「日本では出来なかったさんの経験ができました」「ホストファミリーをはじめ、様々な国の友達と交流できて、一生忘れない思い出ができました」などと笑顔一杯に話していました。



①～⑦研修生とホストファミリー ⑧学校での卒業式 ⑨ノースウエストスクール ⑩～⑫研修生の学校での様子
⑬ワシントン州議事堂にて ⑭シアトルマリナース観戦 ⑮飛行機博物館にて ⑯ノースウエスト・ハーベストにてボランティア活動

11月2日(土) 3日(日) 隼人族の守護神が見参
弥五郎どん祭り

前夜祭 どんドン祭り	本祭 弥五郎どん祭り
日時 11月2日(土) 午後6時開場 午後6時30分開演	日時 11月3日(日) 午前1時からの「ふれ太鼓」でスタート 弥五郎どんの浜下りは午後1時から
場所 大隅文化会館	場所 岩川八幡神社周辺
内容 弥五郎太鼓ほか市内外の太鼓集団共演、ミスター弥五郎の紹介、お楽しみ抽選会ほか	内容 弥五郎太鼓奉納演奏、弥五郎どんの浜下り、各種武道大会ほか

平成25年度鹿児島県茶業振興大会も同日開催!

時間 午前10時～午後4時
場所 弥五郎伝説の里
 ☆司会はタマリさん (KTS 専属タレント)
 ☆約100店舗が出店
 ☆薩摩剣士隼人ショー
 ☆当日はニコニコ動画(動画配信サービス)で大会会場、祭り会場を生中継します。

【お問い合わせ先】 前夜祭 曾於市役所経済課 ☎0986-76-8808
 本祭 曾於市商工会大隅支所 ☎099-482-1432

秋の行政相談所開設について

行政について困っていることや分からないことを行政相談委員に相談してみませんか

お問い合わせ先

総務課・各支所地域振興課

末吉 ☎ 0986-76-8801 財部 ☎ 0986-72-0931 大隅 ☎ 099-482-5921

会 場	実施日	時 間	場 所	行政相談委員
財部地区	10 月 22 日 (火)	午前 10 時 ～午後 3 時	財部保健福祉センター (0986-72-0460)	池田 睦朗
末吉地区	10 月 24 日 (木)		末吉中央公民館 (0986-76-1120)	稲留 正文
大隅地区	10 月 24 日 (木)		大隅中央公民館 (099-482-0068)	鮫島 一郎

総務大臣より委嘱されている行政相談委員が、国の仕事に関する疑問や要望などの相談に応じます。
 当市担当の相談委員が、相談所を開設しますのでお気軽にご相談ください。
 相談は無料、秘密はかたく守られます。

児童扶養手当等の手当額が変わります

お問い合わせ先

財部支所 福祉事務所 児童社会福祉係 ☎ 0986-72-0936

本 庁 保 健 課 福 祉 係 ☎ 0986-76-8807

大隅支所 保健福祉課 福 祉 係 ☎ 099-482-5925

手当の種類		平成 25 年 9 月分まで (月額)		平成 25 年 10 月分 から (月額)	
児童扶養手当	子 1 人、全部支給の場合		 ※法律に 基づく 改定	子 1 人、全部支給の場合	
		41,430 円		41,140 円	
	子 1 人、一部支給の場合			子 1 人、一部支給の場合	
		41,420 円～ 9,780 円		41,130 円～ 9,710 円	
特別児童扶養手当	1 級	50,400 円		1 級	50,050 円
	2 級	33,570 円		2 級	33,330 円
特別障害者手当		26,260 円			26,080 円
障害児福祉手当		14,280 円			14,180 円

子育てふれあいひろば

1日は大隅弥五郎伝説の里で育児講座を開催します。
16日は財部保健福祉センターで育児講座を開催します。

お問い合わせ先

曾於市子育て支援センター ☎ 0986-76-6565（直通）

子育て携帯サイトすまいるキッズ <http://www.smile-kids.jp/sooshi>



日	月	火	水	木	金	土
		10/1 講座	2 ひろば	3 親子	4	5
6	7	8 ひろば	9 ひろば	10 親子	11	12
13	14	15 ひろば	16 講座	17 親子	18	19
20	21	22 ひろば	23 ひろば	24 親子	25	26
27	28	29	30 運動会	31		

◆親子ビクス（10月1日）
対象 就学前のお子さま
講師 田鍋いずみ先生
※バスタオル、飲み物持参
◆フラワーアレンジメント（10月16日）
講師 片平幸美さん
参加費 八〇〇円
申込期限 10月11日（金）
◆身体測定・健康相談（10月23日）
母子手帳をご持参ください。
保健師による健康相談もあります。
◆ミニミニうどんどうかい（10月30日）
あかちゃんハイハイ競争など、楽しいプログラムが満載です。
場所 生きいき健康センター

※子育て支援センターは、キッズルーム開放・育児相談を実施しています。

キッズルーム開放 午前10時～午後3時（月曜日～金曜日） 育児相談 午前9時～午後4時（月曜日～金曜日）

親子ふれあい遊び 午前10時～11時30分 ●会場：生きいき健康センター

子育てひろば 午前10時～11時30分 ●会場：大隅弥五郎伝説の里 ●会場：財部保健福祉センター

育児講座 午前10時～11時30分 ●会場：大隅弥五郎伝説の里（1日）

●会場：財部保健福祉センター（16日）

国民年金のはなし

お問い合わせ先

市民課・各支所地域振興課

末吉

☎ 0986-76-8805

大隅

☎ 099-482-5923

財部

☎ 0986-72-0934

年金移動相談所開設日

期 日	時 間	場 所
10月3日（木） （予約受付9月26日～）	午前10時～ 午後3時	財部保健福祉 センター
11月7日（木） （予約受付10月31日～）		大隅支所別館 2階大会議室

鹿屋年金事務所による移動相談所が開かれます。日程・場所は上記のとおりです。

相談は無料ですが、予約が必要です。

予約のない方の相談はできませんので、ご了承ください。

また、国民年金保険料専用ダイヤル
0570・011・050
または鹿屋年金事務所へお問い合わせ下さい。

国民年金保険料を納めて頂くことで、将来の年金額を増やしたり、年金の受給権につなげたりできるようになります。

平成24年10月から3年間に限り、過去10年以内の納め忘れた保険料を納めることができる、後納制度を利用することができます。

○後納制度をご存じですか

※口座振替・クレジットカードでの納付が開始されるまで、申し込んでから2カ月ほどかかります。

・必要なもの 年金手帳・通帳・口座届出印

またクレジットカードでの支払いも可能です。

市役所国民年金係または年金事務所、金融機関窓口で申し込むことができます。

信用組合・労働金庫で利用できます。

口座振替は、全国の銀行・郵便局・農協・信用金庫・

は、便利で安心、確実な口座振替をおすすめします。

○国民年金保険料は、便利・安心・確実な口座振替で

平成 25 年度インフルエンザ予防接種のお知らせ

お問い合わせ先

保健課 健康増進係

☎ 0986-76-8806



インフルエンザの予防に備え、平成25年度は生後6か月児（高校3年生相当の市民並びに満65歳以上の市民を対象に予防接種の補助を行います。インフルエンザに感染しても、重症化につながらないように早めの接種をお願いします。

補助の対象者

生後6か月児（高校3年生に相当する市民（平成8年4月1日までに生まれた市民）

満65歳以上の市民（ただし、60歳～65歳未満の方で心臓・腎臓・呼吸器等で身体障害者手帳を保持している方も対象）

補助期間

平成25年10月1日

～平成26年1月31日

補助医療機関

原則として、曾於市内にある医療機関。ただし、鹿児島県内の他市町村に主治医のある方は、その医療機関でも可能です。なお、現在入院・入所中の方は、他県の医療機関でも可能となりますが、事前に医療機関との契約が必要となります。接種される前に、必ず保健課へお問い合わせください。

補助内容

＜曾於市内の医療機関＞

予防接種名	対象者	市補助額	個人負担額
インフルエンザ	生活保護受給者	生後6か月児～	全額無料
		13歳未満	
		13歳～19歳未満	
		満65歳以上	
	上記以外の人	生後6か月児～	1回目：1,500円
		13歳未満	2回目：1,500円
		13歳～19歳未満	1回目：1,500円
		満65歳以上	1回目：1,500円

＜曾於市外の医療機関＞

予防接種名	対象者	市補助額	個人負担額
インフルエンザ	生活保護受給者で、入院・入所中の人	生後6か月児～	接種料の差額分
		13歳未満	
		13歳～19歳未満	
		満65歳以上	
	上記以外の人で、入院・入所中の人	生後6か月児～	接種料の差額分
		13歳未満	
		13歳～19歳未満	
		満65歳以上	

軽度・中等度の難聴児に対する補聴器の購入費用の助成について

お問い合わせ先

財部 福祉事務所 社会福祉係 ☎ 0986-72-0936
 末吉 保健課 福祉係 ☎ 0986-76-8807
 大隅 保健福祉課 福祉係 ☎ 099-482-5925

平成25年度から鹿児島県の補助を受け、身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児に対して、日常生活における言語獲得、コミュニケーション能力の向上及び知識技能の習得等に寄与するため、補聴器の購入費用の一部を助成します。

対象となる児童

次の各号のいずれにも該当する18歳未満の児童

- (1) 曾於市に住所を有していること。
- (2) 両耳の聴力レベルが30デシベル以上70デシベル未満で、身体障害者手帳の交付対象とならないこと。※身体障害者手帳の対象の可否について、一度申請を行っていただき、却下された方を対象とします。
- (3) 補聴器の装用により、言語の習得等一定の効果が期待できると身体障害者福祉法第15条第1項に規定する都道府県知事の定める耳鼻咽喉科の医師により判断されていること。

※対象となる年度の市町村民税の所得割額が46万円以上の方がいる世帯は対象となりません。

助成額

下記の表に掲げる補聴器の種類ごとの1台当たりの基準価格と希望する補聴器の見積額を比較して、少ない方の

額の3分の2以内の額を助成します。

必要書類等（申請時）

- ① 難聴児補聴器購入費助成金交付申請書
- ② 交付意見書（医師作成）
- ③ 補聴器の見積書
- ④ 補聴器の仕様書
- ⑤ 印鑑
- ⑥ その他（課税証明書等）

その他

助成に関する詳しい内容については、担当窓口までお問い合わせください。



補聴器の種類	一台あたりの基準価格
軽度・中等度難聴用 ポケット型	四三、二〇〇円
軽度・中等度難聴用 耳かけ型	五二、九〇〇円
高度難聴用 ポケット型	四三、二〇〇円
高度難聴用耳かけ型	五二、九〇〇円
重度難聴用 ポケット型	六四、八〇〇円
重度難聴用耳かけ型	七六、三〇〇円
耳あな型 (レディメイド)	九六、〇〇〇円
耳あな型 (オーダーメイド)	一三七、〇〇〇円
骨導式ポケット型	七〇、一〇〇円
骨導式眼鏡型	一二七、二〇〇円

※軽度・中等度難聴用ポケット型から耳あな型（レディメイド）について、イヤモールドを必要としない場合は基準価格から九千円を除き、骨導式眼鏡型で平面レンズを必要としない場合は、基準価格から一枚につき三六〇〇円を除きます。

思いやりそお市民祭「そお市グルメ街道」出店者募集

お問い合わせ先

経済課ブランド推進室

☎ 0986-76-8808 FAX0986-76-7285

安心安全な地元食材を市内外にアピールし、曾於市の特色ある食品の消費拡大をはかるため、市民祭会場内に「そお市グルメ街道」を設置し、出店者を募集します。

開催日時

11月9日（土） 午前10時～午後5時
10日（日） 午前10時～午後5時

場所

栄楽公園グラウンド内特設会場

資格

曾於市内の商工業者・個人団体等

出品グルメの内容

① 既存のもの、又は新規開発したグルメ

② 調理加工され、会場内で飲食できるもの

申込方法

出店申込書に必要事項を記入の上、出店料及び付帯設備使用料を添えて申し込む

申込先

曾於市役所 経済課

申込期限

平成25年10月15日（火）必着

募集店舗数

50店舗（先着順）



秋の農作業事故ゼロ運動

ベテランの慣れと疲れが事故のもと農作業はもちろん行きと帰りも要注意！

お問い合わせ先

経済課・各支所地域振興課

末吉 ☎ 0986-76-8808 財部 ☎ 0986-72-0938 大隅 ☎ 099-482-5950



今年に入り県内では農作業死亡事故が9件発生（平成25年8月23日現在）、うち7件は大隅地域で発生したことから、大隅地域に対し「農作業死亡事故多発警報」が発令されました。
農繁期となり忙しい時期ですが、悲惨な事故を無くすためにも、次のことに注意して農作業に取り組みましょう。

- ① 機械や作業場所の点検整備を行い「ヒヤリ・ハツと」の危険箇所を共有する。
- ② 出かける前に家族に一声かけ、いつでも連絡がとれるよう携帯電話を忘れない。
- ③ 農作業は計画的に行い、こまめな休憩・水分補給を行って無理をしない。
- ④ ゆとりを持った無理のない農作業を行いましょう。
- ⑤ 機械のほ場へ搬入出の際は、段差や路肩に十分注意して、機械の転落・転倒事故を未然に防ぎましょう。
- ⑥ 農作業中の災害に備え、労災保険等に参加する。

税チャンネル ～納税があなたを支えます！～

お問い合わせ先

税務課・各支所地域振興課 税務係

末吉 ☎ 0986-76-8804 大隅 ☎ 099-482-5922

財部 ☎ 0986-72-0932

国民健康保険税について

「国保とは」

病气やけがに備えて**加入者のみなさんがお金を出し合い、医療費の補助などにあてる助け合いの制度**です。職場の健康保険・後期高齢者医療制度に加入している人や生活保護を受けている人を除くすべての人が、国保に加入します。

世帯に国保の方が1人でもいると**「世帯主」に納税義務が生じます**。

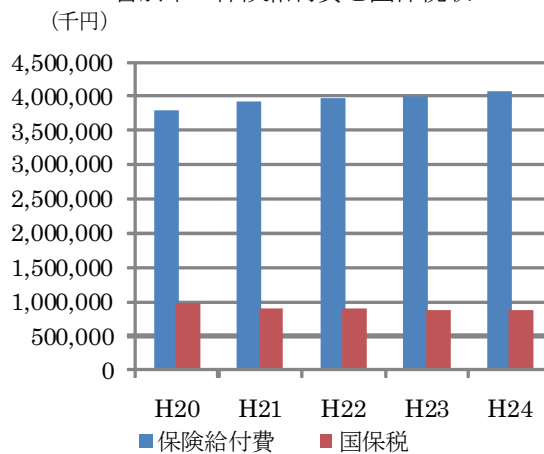
昨年度、みなさんが納めた曾於市の「国保税」は、約8億8千万円となっており、対して保険給付費は約40億7千万円（療養費・療養給付費が約35億6千万円、高額療養費が約5億1千万円）となっています。

不足分は、国・県補助金及び市の一般会計からの繰入、基金の取り崩し等により補っています。

また、平成24年度の滞納額は約4千8百万円となっており、保険給付費が年々増加する中で、大変厳しい状態が続いています。

国保税を滞納すると、高額療養費等の払い戻しが差し止められたり、期限付きの短期被保険者証や資格証明書（病院等にかかった時の医療費が全額負担）が交付されます。

曾於市の保険給付費と国保税収



税務課は、収入や世帯の状態から公平な課税を行い、それをほとんどの国保世帯が納めています。「病院に行かないから」とか「生活が苦しいから」といって納めないのは理由になりません。

「国保」は、助け合いの制度です。国保税を納めることで、自分はもちろん、みんなが安心して医療を受けられます。**納める人が不公平を感じないよう、滞納者に対しては、納付を厳しく追求していきます。**

また、何らかの理由で納めることが困難な場合は、早めに税務課へご相談ください。納付も相談もない場合は、滞納処分（差押え）を行うこととなります。

今月（10月）の納期について

- 市県民税 3期
- 国民健康保険税 5期
- 介護保険料 5期
- 後期高齢者医療保険料 5期

※口座振替をされている方は、**10月31日に振替えますので残高のご確認をお願いします。**

※国保税を納める義務は、世帯主にあります。

※社会保険等から脱退した場合は、国保への加入手続きを必ず行ってください。国保への加入日は、届けた日ではなく社会保険等を喪失した日からとなりますので、早めに届けてください。遅れると遡って課税され、滞納の要因となりかねません。

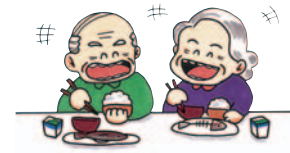
8020 達成者表彰

80 歳になっても 20 本以上自分の歯を保とう

お問い合わせ先

保健課 健康増進係

☎ 0986-76-8806



8020 達成表彰者

(敬称略)

氏 名	住所 (自治会)	年齢・本数	氏 名	住所 (自治会)	年齢・本数
堂園 フヂ	大隅町中之内(西笠木)	95 歳 22 本	吉永 廣海	末吉町二之方(寺田西)	80 歳 26 本
山田 テル	大隅町岩川(菅牟田)	88 歳 21 本	逆瀬川 節子	大隅町中之内(中園)	80 歳 25 本
山元 道生	財部町南俣(町)	84 歳 25 本	坂口 千夜子	大隅町中之内(元八幡)	80 歳 21 本
谷口 文雄	末吉町二之方(菅渡東)	83 歳 24 本	月野 鐵雄	末吉町南之郷(柿木下一区)	80 歳 24 本
徳丸 ノブ	財部町南俣(七村)	83 歳 20 本	上山 巧	大隅町大谷(大路)	80 歳 22 本
向田 アサ子	末吉町岩崎(南大澤津)	83 歳 23 本	高木 秀久	末吉町上町(新地)	80 歳 20 本
湯田 忠弘	大隅町中之内(郷田)	81 歳 25 本	山下 達夫	大隅町中之内(東笠木)	80 歳 27 本
徳石 チエ	財部町下財部(高塚)	81 歳 20 本	馬庭 豊	大隅町岩川(竹山)	80 歳 29 本

第9回曾於市社会福祉大会が8月25日(日)末吉総合センターで開催され、各種功労者表彰や感謝状贈呈が行われました。その中で8020達成者の表彰があり、16名の方が表彰されました。

8020を達成するには、小さい頃からの規則正しい食習慣と手入れが大切です。健康な口は、全身の健康の入り口です。みなさんも歯と口の健康づくりに心がけましょう。

平成 25 年度 市民ウォーキング

日 時 平成25年10月10日(木)(雨天決行) 午前9時～

集 合 悠久の森入り口駐車場

コース 悠久の森コース(財部町大川原)

持参する物 運動できる服装、ウォーキングできる靴、リュック、帽子、飲物等

お問い合わせ 曾於市役所保健課健康増進係 ☎ 0986-76-8806



ご寄附がありました

(8月受付分)

●曾於市思いやりふるさと寄附金 (ふるさと納税)

1件 6千円

この寄附制度は、平成20年度に始まり、平成25年8月末時点で、

196件

1838万8965円

となっています。寄附者の意向に沿った事業に活用させていただいています。

●山中貞則顕彰記念事業寄附金

7件 377万円

この寄附金は、末吉町深川の故山中貞則先生の自宅を購入し、顕彰記念館として管理運営していく経費に活用させていただいています。平成22年度に始まり、平成25年8月末時点で、

330件

2億3577万7827円

となっています。寄附金目標額は、5億円です。

＊市では、ご厚意に深く感謝申し上げます。いただいたきました貴重な浄財を、有効に活用させていただきます。



住宅の新築・購入、おめでとうございます！

住宅取得祝金等支給制度について

曾於市では、人口減少に歯止めをかけるため、また、市内商工業の活性化を図るために、住宅取得祝金等支給制度を実施しております。**住宅を取得された方で、対象者となる方は、申請をしてください。**

お問い合わせ先

末吉本庁 企画課 まちづくり推進係 TEL 0986-76-8802
大隅支所 地域振興課 地域振興係 TEL 099-482-5921
財部支所 地域振興課 地域振興係 TEL 0986-72-0931

1. 制度の目的	曾於市では、定住促進を図るため、住宅を新築または購入した方に対し、お祝として現金と市商工会が発行する商品券を支給いたします。 商品券で支給することにより、市内経済の活性化を図ることも目的としています。
2. 対象者	・市内に居住するため住宅を新築または購入した方。 ※ 4. 注意点（対象外等）を参照してください。
3. 支給の金品等	（基本の祝金等） 1. 市内業者による新築 商品券 10 万円分＋現金 10 万円＝計 20 万円分 2. 市外業者による新築 商品券 5 万円分＋現金 5 万円＝計 10 万円分 3. 未入居の建売住宅購入 商品券 5 万円分＋現金 5 万円＝計 10 万円分 4. 上記以外の中古住宅購入 商品券 2 万 5 千円分＋現金 2 万 5 千円＝計 5 万円分 （転入者加算） 5. 上記 1～4 の対象者で、転入して 1 年以内の方に対して、商品券 5 万円分＋現金 5 万円＝計 10 万円分を加算。 ※注）本市から他の市町村へ転出し、転出後 3 年以内の再転入は対象外とする。
4. 注意点（対象外等）	1. 新築・購入の日は、法務局の登記（新築・所有権移転）の日付を基準とします。 2. 新築・購入の日以後 1 年以内に申請してください。 3. 転入日以後 1 年経過してからの住宅取得は、転入者加算の対象外とします。 4. 市の定住促進住宅用分譲地への新築は、対象外とします。 5. 市税等の滞納者は、対象外とします。 6. 住宅リフォーム促進補助金、危険廃屋解体撤去補助金との併用申請は、認められません。 7. 中古住宅とは、居住が可能で耐用年数が 10 年以上見込まれるものです。



住宅の建築やお買い物は
市内のお店で！
みんなの力で、
ますます住みよいまちに！

左は 8 月 29 日に行われた
住宅取得祝金等交付式の写真

いちようの木コンサート



高岡小の児童と先生による合唱

8月24日、高岡小学校の校庭で「第13回 いちようの木コンサート」が開催されました。

このコンサートは、高岡小のシンボルである大いちようの木の下に皆で集まり、高岡の良さを再発見しようとして平成13年から始まりました。

当日は、高岡小児童と高岡幼児学園の園児による合唱をはじめとして、メセナ楽団の演奏、末吉俵踊り保存会の踊りなどが披露されました。集まった地域の方々は、すてきな演奏を聴きながら、高岡の夏を楽しんでいました。

サマーキッズ体験



びしょ濡れになって大はしゃぎする子ども達

曾於市観光特産開発センターときたん市場（財部町北保）は共同で、子ども達の夏の思い出づくりを目的としたサマーキッズ体験を夏休み期間中に四回行ないました。

曾於市や都城市などから多くの子ども達が参加し、陶芸体験、竹を使った水鉄砲作り、釜でのご飯炊き、カレー作りなどの趣向が凝らされた体験を楽しみました。

特に、水鉄砲遊びでは、みんなびしょ濡れになりながら時間を忘れて遊んでいました。

精華女子高等学校吹奏楽部サマーコンサート



マーチングとカラーガード

8月31日、末吉総合センターで「福岡・精華女子高等学校吹奏楽部サマーコンサートinそお」が開催されました。同吹奏楽部は国内外で金賞・ワールドチャンピオンの受賞歴があり、全国でもトップクラスの实力です。

しっとりとした吹奏楽の演奏から始まったコンサートは、二部ではダンスの披露、三部ではマーチングとカラーガードと様々なパフォーマンスが鮮やかに展開されました。

その素晴らしい演奏に超満員の観客席は、感動と興奮に包まれました。

車イスがぴかぴかに



一台ずついいねいに磨きます

9月7日、曾於第6回ボーイスカウト隊が末吉岩南地区にある特別養護老人ホーム「輪光無量寿園」で車イス磨きの奉仕活動を行いました。この活動は、毎年敬老の日付近に行っており、今年で31回目になります。

当日は、隊員と指導者が車イス約50台の清掃にとりかかり、1台ずついいねいに磨きあげていきました。参加した隊員からは、「きれいになった車椅子をおばちゃんたちに喜んでもらえて良かった」と満足した声が聞かれました。



地産地消の学校給食

配膳される黒豚の回鍋肉

南九州畜産興業株式会社は曾於市、志布志市、大崎町の小・中学校へ学校給食の食材としてかごしま黒豚肉を提供しました。これは、地産地消と食育の一環として、平成19年から実施されています。

曾於市内では、黒豚・黒牛にちなんだ9月6日に、給食で黒豚料理が振舞われました。黒豚のホイコーローを食べた光神小学校2年生の中野千尋（なかのちひろ）さんは「とても美味しいです。あつという間に食べ終わってしまいました」と大満足の笑顔で話しました。



みんなで音楽を楽しもう！

大人数で楽しく演奏

9月1日、末吉中学校体育館でメセナ楽団主催の「自由演奏会inそお2013」が開催されました。これは、音楽と楽器が好きなら誰でも参加できるコンサートで、曾於市内での開催は今回で10回目です。当日は、市内学生を中心に78名の参加がありました。上野の森ブラステューバ奏者の杉山淳（すぎやまじゅん）先生の指導のもと、参加者は熱心に練習し、本番では7曲を演奏しました。参加した小学生は「難しかったけど、みんなで演奏ができて、とても楽しかった」と話しました。



桐原の滝下流にヒガンバナを植栽

ヒガンバナを植える様子

8月25日、財部の「北校区よかふんし隊」を含む地域住民に「曾於市観光ボランティアガイドの会」と「曾於市でSOO快に暮らSOO会」が加勢をし、桐原の滝下流の道沿い約一キロにヒガンバナの球根一万個を植えました。

総勢30名の参加者は、汗を流しながらも、ヒガンバナの美しい姿を想像し笑顔で球根を植えていました。

参加された「SOO会」の中山会長夫妻は、「ヒガンバナが咲く頃見に行きます。楽しみがひとつ増えました」と話しました。



宝くじ助成金で整備されたイベント用品

宝くじの助成金でイベント用備品を整備

柳迫校区公民館が平成25年度コミュニティ助成事業で、発電機や音響などのイベント用備品を整備しました。この事業は、地区公民館組織等が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指すもので、財団法人自治総合センターが、コミュニティ活動に直接必要な設備の整備を支援しています。これらは、早速、夏祭りや敬老会で活用されました。これからも地域の活性化につながる事が期待されます。